

1	<b>工事概要</b>									
2	工事名称	小鹿野小中学校体育館空調設備工事								
3	工事場所	株父郡小鹿野町小鹿野2678番地								
4	工 期	契	約	日	から	令和	年	月	日	
5	現場施工期間	令和	年	月	日	から	令和	年	月	日
6	備考	現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。								

建 物 名 稱		構 造	階 數	延面積 (㎡)	消防法施行 令別表第一	備 考
①	體育館	R C一部木造	地上 2 層	1215.64	(7) 項	空調設備設置工事
②						
③						
④						
⑤						

建物別及び屋外 工事種目		工事種別					屋外
		①	②	③	④	⑤	
●	空気調和設備	一 式					
○	換気設備						
○	排煙設備						
●	二次側配線設備	一 式					
○	衛生器具設備						
○	給水設備						
○	排水設備						
○	給湯設備						
○	消火設備						
○	厨房機器設備						
○	ガス設備						
●	撤去工事	一 式					

7 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）

1 専任期間の始期

請負契約締結の日から、○（現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間・令和 年 月 日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

2 専任期間の終期

工事完成後、検査が終了（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

3 専任期間の中断

自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

9	機械設備工事概要	
	空調設備	図示による冷暖房設備図の新設を行う
	二次配線設備	図示による二次配線設備の新設を行う
	撤去工事	既設暖房設備およびプロパンガス供給節節の撤去を行う（図示による）


・ 建築工事      ・ 電気設備工事

(1) この工事は特設仕掛車、図面に示すほか、埼玉機械設備工事株式会社仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大田官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備仕様書）  
公共建築改修工事標準仕様書（機械設備仕様書）、公共建築設備工事標準図（機械設備工事標準図）  
（以下「標準仕様書等」という。）及び監督者の指示に従い施工する。  
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。

(3) 法令・基準、仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。

○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

●  
一般  
共通  
事項  
特  
記  
事  
項

①機材等

2電気保安技術者

③施工条件

④技能士の適用

⑤機材の検査及び  
試験、施工の検査  
及び試験

⑥監督員事務所

⑦官公署その他への  
届出手続等

⑧工事用電力・水等

⑨工事用仮設物

⑩足場・さんばし類

⑪建設発生土の処理

⑫埋め戻し土・盛土

⑬再生砂、再生砕石、  
再生アスコン使用

⑭発生材の処理等

⑮容量等の表示

16配管

⑰耐震施工

本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7.7.1.1含有の有無を確認し、7.7.1.2を含む機材は、使用しないこと。  
「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。  
調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。

・置く　・置かない

施工時間  
※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。  
※上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。

○配管施工（配管工事）　・建築板金施工（風道制作及び取付け）  
・熱絶縁施工（保温工事）　・冷凍空調調和機器施工（冷凍空調機器の据付け）  
検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び別記仕様書によるほか下記による。  
※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所（事前に監督員の承諾を得る）に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。  
ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化水素イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。  
※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに（概ね3ヶ月以内）流入水・処理水の水質試験を行う。  
試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。  
ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。

本工事で　・設ける（規模　）　※設けない

工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。

本工事に必要な工事用電力及び水などの費用は、すべて受注者の負担とする。

すべて受注者の負担とし、構内につくることが　※できる　　・できない

※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。　○　本工事とする。

埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きなす。  
○構外搬出適切処理する。

※根切土の中の良質土（但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類）　・山砂の類

再生砂などは原則使用しない。ただし、監督員の了解を得た場合に限り、表層以外に・使用できない。  
再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1立方体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。  
（構外搬出処理費は　※本工事　・別途）  
（1）引渡しを要するもの（

空気調和設備工事の保溫の種別			
区 分	施 工 箇 所	保 溫 種 別	
ド レ ン 管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅶ	
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ	
	天井内、P S 内及び空腔壁中	c2・(ロ)・Ⅶ	
	浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	e3・(ハ)・Ⅶ	
	蒸 気 管		
蒸 気 管	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅱ	
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅱ	
	天井内、P S 内及び空腔壁中	C2・(イ)・Ⅱ	
	床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	D・(イ)・Ⅱ	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	E3・(イ)・Ⅱ	
冷水・冷温水管 (膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボ イラー等への補給 水管を含む。)	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ハ)・Ⅲ	
	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・Ⅲ	
	天井内、P S 内及び空腔壁中	C1・(ハ)・Ⅲ	
	床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	D・(ハ)・Ⅲ	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	E3・(ハ)・Ⅲ	
温 水 管 (膨張管を含む。)	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ロ)・Ⅰ	
	機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・Ⅰ	
	天井内、P S 内及び空腔壁中	C2・(ロ)・Ⅰ	
	床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	D・(ロ)・Ⅰ	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	E3・(ロ)・Ⅰ	


	区分	施工箇所	保温種別
	給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅶ
		機械室、書庫、倉庫	b・(X)・Ⅶ
		天井内	c2・(ロ)・Ⅶ
		P S 内及び空腔壁中	—
		県営住宅 P S 内	c2・(ハ)・Ⅶ
		床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	—
	排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・Ⅶ
		屋内露出（一般居室、廊下）	—
		機械室、書庫、倉庫	—
天井内		c2・(ロ)・Ⅶ	
P S 及び空腔壁中		—	
屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）		—	
給湯管  （膨張管、空気抜き、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ロ)・I	
	機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I	
	天井内	c2・(ロ)・I	
	P S 内及び空腔壁中	d・(ロ)・I	
	屋外露出及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(ロ)・I	

(注) 1. 消火、排水及び通気管のうち見えかた部は塗装を施す。  
2. 排水管の管壁が耐火二層管、耐火V管の場合は、保温を要しない。  
3. 施工種別bの材料及び施工順序3、4に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。  
4. 機器類の保温材の種別は、※(ロックウール)とする。  
5. 消火管屋外露出部保温仕様は、e3 (ハ)・Ⅶとする。  
6. 空間内露出SUS管及び流し内露出SUS管は保温を要しない。  
7. 空調取捨を要する場所(特別支援学級等)外の使用で高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工箇所によりず保温を要する。  
※ロックウール・ガラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。

19 防 凍 保 温 ※屋外露出給水管（呼び径20以下のみ）は、保温厚40mmの防凍保温を行うこと。  
・図示の屋外露出部（給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。）は下記仕様により防凍保温を行う。  
※保温仕様は保温厚さを40mmとする。  
・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。

20	塗 装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。
(21)	電 線	特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐業外線性能を有するものとする。 ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。

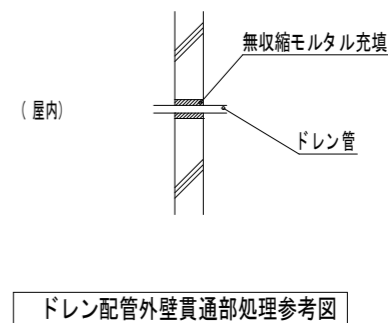
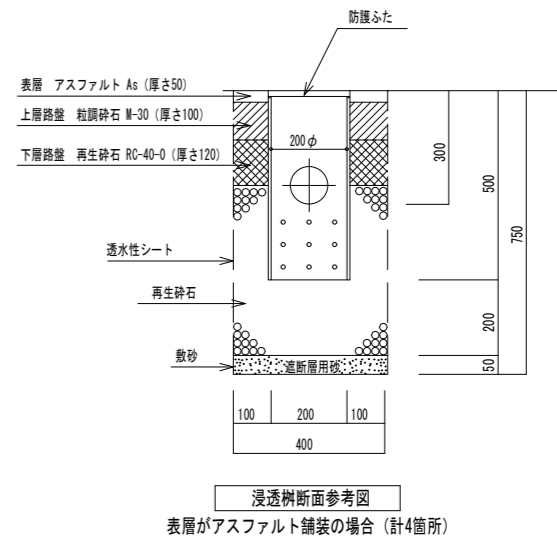
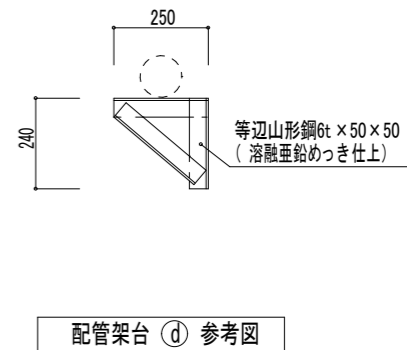
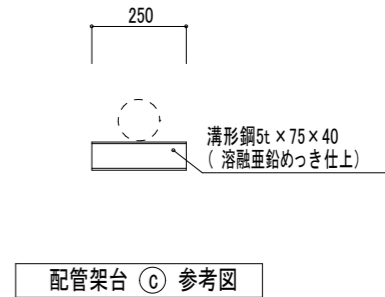
[illegible]

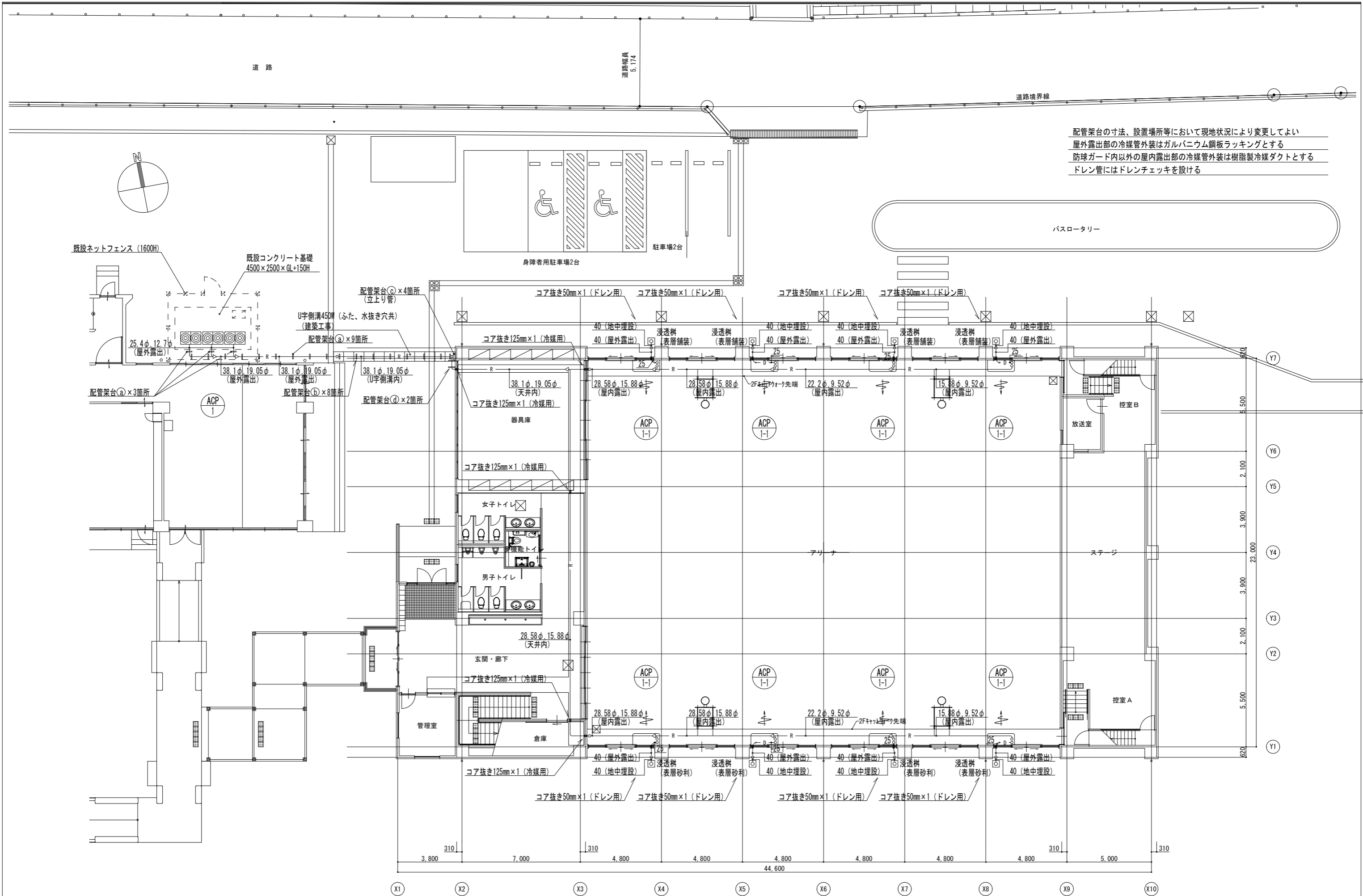
備考		課長	副課長		主幹	主査	担当	 <div>〔株〕新日本設計 一級建築士事務所登録（８）第1861号 二級建築士登録第171953号 松崎峰夫 埼玉県鶴ヶ島市御折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411（代）</div>	所長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称	図面番号
									(松崎)	(藤村)	(深野)	令和7年度	小鹿野小中学校体育館空調設備工事	M-01
													図面名称	
													機械設備工事特記仕様書（１）	S-NS(A1) S-NS(A3)

		(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せし設定すること。 (4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（(一財) 日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。		標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 H F C ( R 4 1 0 A、R 3 2 又はR 4 0 7 G ) (注1) R 4 1 0 Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R 3 2を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	11 擬音装置 12 そ の 他	トイレブースに設置する。 衛生設備器具の適用等の必要などは別途衛生設備器具表による。	2 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立立管には、各階毎に次の継手を設ける。 ・掃除口付きソケット ※満水試験用掃除口ソケット 4 排の適用 別紙樹表による。	
● 空気調和設備	① 設計温度	外 気 屋 内 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 夏 期 37.1℃ 47.1% 28℃ %℃ %℃ %℃ % 冬 期 0.5℃ 49.4% 20℃ %℃ %℃ %℃ % ※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。	○ 換気設備	1 長方形ダクト ※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)	○ 給水設備	1 配管材料 配管材料は、※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 施 工 箇 所 管 種 別 床下、暗室内 (ビット内、共同溝を含む。) ※SUS ・ポリブテン管 ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管) ※SUS ・H I V P ・ポリブテン管 保温をしない屋外露出部 ※SUS 地中埋設部 (水道直結部分) ・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (P E ) ・	○ 給湯設備	1 配管材料 ・露出部 M銅管 その他 保温付被覆銅管 (M銅管) ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) 2 絶縁フランジ 取付部は下記による。 ※鋼管と銅管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 3 弁 類 (1) 規格はJIS又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、J V-1による。 4 ガス瞬間沸湯器 ※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型 5 電気給湯器 飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。
	② 総合試運転調整	※本工事 ・別途 風量調整 ※する ○しない 水量調整 ※する ※しない 騒音の測定 ※する ※しない 室内気流及びじんあいの測定 ※する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ※しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ※しない	3 風量測定口	2 円形ダクト	2 円形ダクト	2 円形ダクト	○ 給湯設備	3 弁 類
	3 煙 道	(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・設けない	4 煙 突	※別途 ・本工事	5 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力D C 24 V、0.7 A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)	○ 給湯設備	4 ガス瞬間沸湯器
	5 長方形ダクト	※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)	6 円形ダクト	※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (V U) ・換気用耐火二層管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。	6 多湿箇所の排気ダクト	(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (V U) (防火区画直通箇所は換気用耐火二層管) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける	○ 給湯設備	5 電気給湯器
	7 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト	8 チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	7 保 温	下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN ・(口) ・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房 ・湯沸室 ・) 用の隠蔽ぺい部ダクト (仕様はh ・(イ) ・IXとし範囲は図示による)	○ 給湯設備	5 電気給湯器
	9 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・ガラスウール製	10 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力D C 24 V、0.7 A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)	8 試運転調整	風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ※しない	○ 給湯設備	5 電気給湯器
	⑪ 配管材料	(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) (5) ドレン管 (屋外) ※硬質塩化ビニル管V P (カラー) ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (X A D A C T I N A I G 相当品) ・耐火二層管V P (F D P S - 1) ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管V P (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (注) 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。 規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・	○ 換気設備	1 ダ ク ト ※亜鉛鉄板 ・ 2 排煙口の形式 ※天井取付 (・スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形) 3 排煙口手動開放装置 開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要) 4 排煙風量測定 建築設備定期検査業務基準書 ( (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。	○ 排水設備	1 配管材料 配管材料は、※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 施 工 箇 所 管 種 別 床下、暗室内 (ビット内、共同溝を含む。) ※R F - V P 又はリサイクルV P ・V P 厨房等の温排水 ※S G P (白) ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・S G P (白) その他の部分 ※R F - V P 又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 床下、暗室内 (ビット内、共同溝を含む。) ※R F - V P 又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・排水用/ハ-111※ 付塗装鋼管 その他の部分 ※R F - V P 又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 地中埋設部 ※R S - V U 又はリサイクルV U ・V U ※R E P - V U (軽重量の場合) ・R F - V P 又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・S G P (白) その他の部分 ※リサイクルV P 又はR F - V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (注) 1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K 6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、R F - V P、R S - V U又は、R E P - V Uは標準仕様書第2編 2. 1. 2. 6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY 45度で行う。 4. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。	○ 排水設備	○ 給湯設備
	12 弁 類	規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。	13 温 度 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・	○ 換気設備	1 配管材料 配管材料は、※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 施 工 箇 所 管 種 別 床下、暗室内 (ビット内、共同溝を含む。) ※R F - V P 又はリサイクルV P ・V P 厨房等の温排水 ※S G P (白) ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・S G P (白) その他の部分 ※R F - V P 又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 床下、暗室内 (ビット内、共同溝を含む。) ※R F - V P 又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・排水用/ハ-111※ 付塗装鋼管 その他の部分 ※R F - V P 又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 地中埋設部 ※R S - V U 又はリサイクルV U ・V U ※R E P - V U (軽重量の場合) ・R F - V P 又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・S G P (白) その他の部分 ※リサイクルV P 又はR F - V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (注) 1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K 6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、R F - V P、R S - V U又は、R E P - V Uは標準仕様書第2編 2. 1. 2. 6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY 45度で行う。 4. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。	○ 排水設備	○ 給湯設備
	14 圧 力 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・	15 瞬間流量計	瞬間流量計はビト-管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・個) 付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。	○ 換気設備	1 配管材料 配管材料は、※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 施 工 箇 所 管 種 別 床下、暗室内 (ビット内、共同溝を含む。) ※R F - V P 又はリサイクルV P ・V P 厨房等の温排水 ※S G P (白) ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・S G P (白) その他の部分 ※R F - V P 又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 床下、暗室内 (ビット内、共同溝を含む。) ※R F - V P 又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・排水用/ハ-111※ 付塗装鋼管 その他の部分 ※R F - V P 又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 地中埋設部 ※R S - V U 又はリサイクルV U ・V U ※R E P - V U (軽重量の場合) ・R F - V P 又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・S G P (白) その他の部分 ※リサイクルV P 又はR F - V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (注) 1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K 6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、R F - V P、R S - V U又は、R E P - V Uは標準仕様書第2編 2. 1. 2. 6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY 45度で行う。 4. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。	○ 排水設備	○ 給湯設備
	16 油面制御装置	※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・着脱形) を設ける。 制御盤には (※給油ポンプ制御 ※減減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。	17 冷却塔	※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	○ 換気設備	1 配管材料 配管材料は、※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 施 工 箇 所 管 種 別 床下、暗室内 (ビット内、共同溝を含む。) ※R F - V P 又はリサイクルV P ・V P 厨房等の温排水 ※S G P (白) ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・S G P (白) その他の部分 ※R F - V P 又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 床下、暗室内 (ビット内、共同溝を含む。) ※R F - V P 又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・排水用/ハ-111※ 付塗装鋼管 その他の部分 ※R F - V P 又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 地中埋設部 ※R S - V U 又はリサイクルV U ・V U ※R E P - V U (軽重量の場合) ・R F - V P 又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・S G P (白) その他の部分 ※リサイクルV P 又はR F - V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (注) 1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K 6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、R F - V P、R S - V U又は、R E P - V Uは標準仕様書第2編 2. 1. 2. 6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY 45度で行う。 4. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。	○ 排水設備	○ 給湯設備

[illegible]

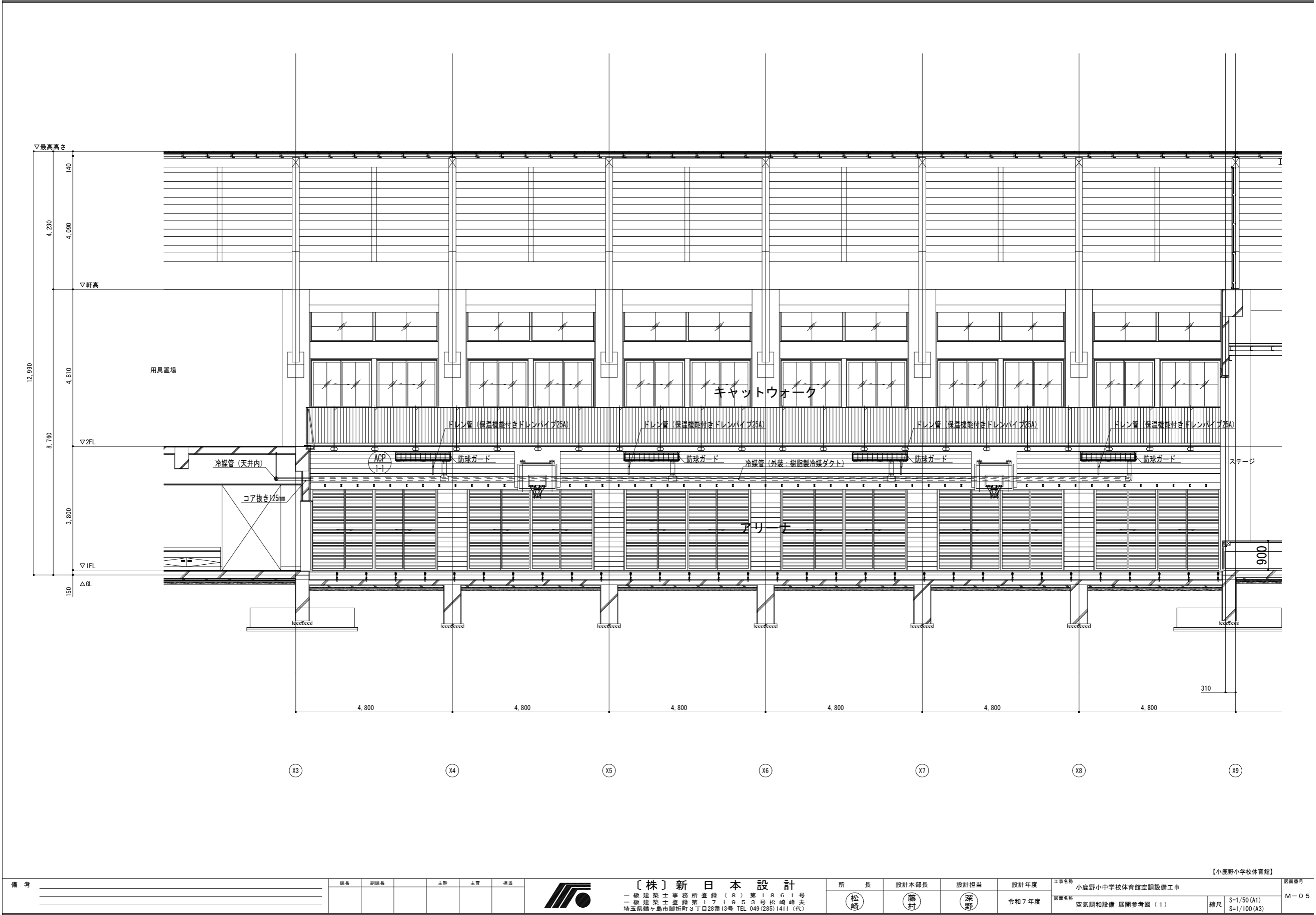
記 号	名 称	区分	材 料	継 手	備 考
—— R ——	冷媒管	共通	断熱材被覆銅管 JIS H 3300 (原管)	銅および銅合金の管継手 JIS H 3401	ガス管(保温厚20mm) 液管(保温厚10mm)
—— D ——	ドレン管	屋内一般	保温機能付きドレンパイプ	保温機能付きドレンパイプ用継手	
		屋外露出	カラーVP	カラーVP管継手	
		土中	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741	排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手 JIS K 6739	




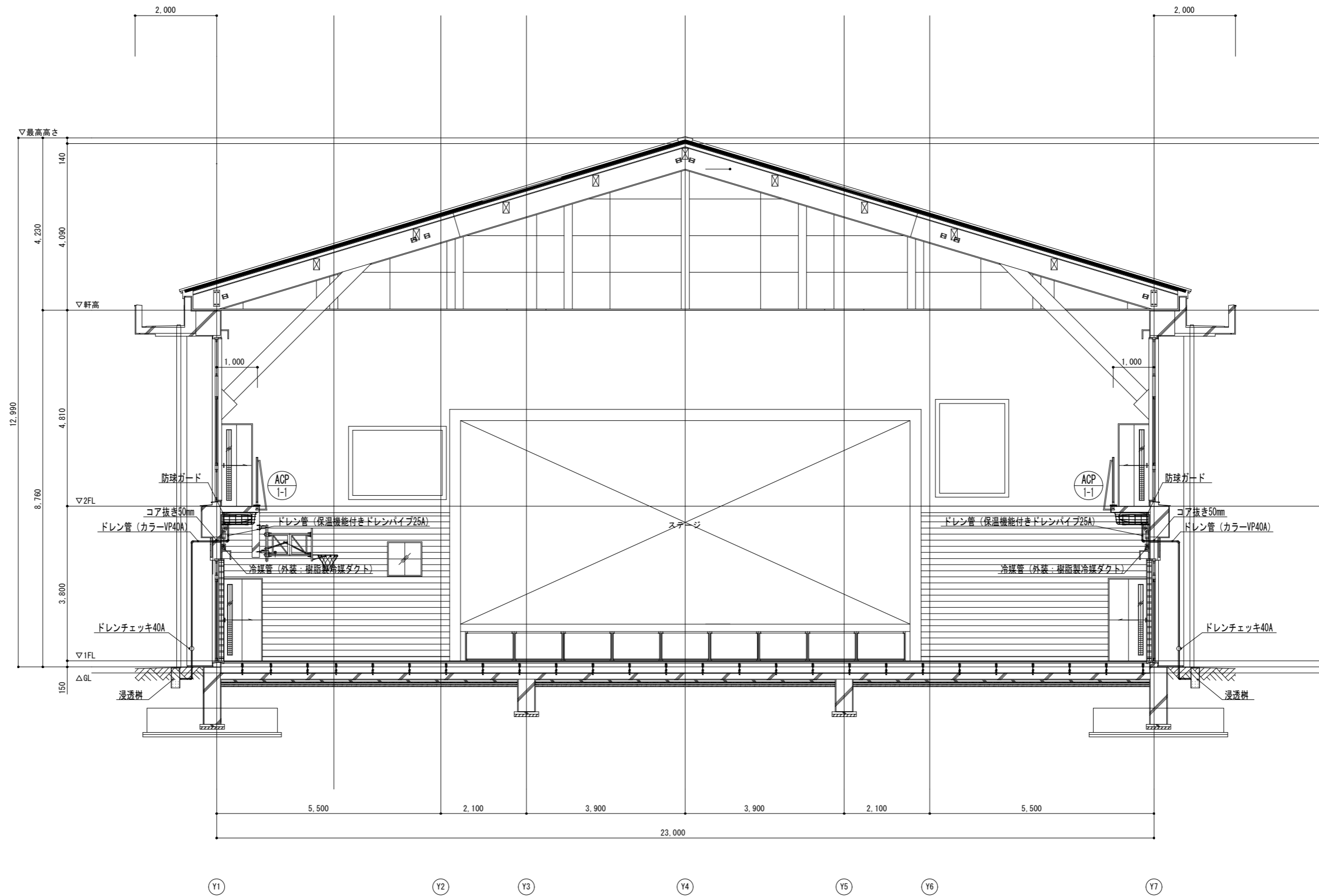


配管架台の寸法、設置場所等において現地状況により変更してよい  
屋外露出部の冷媒管外装はガルバニウム鋼板ラッキングとする  
防球ガード内以外の屋内露出部の冷媒管外装は樹脂製冷媒ダクトとする  
ドレン管にはドレンチェッキを設ける


備 考						図面番号					
						M-O 4					
[株]新日本設計						小鹿野小中学校体育館空調設備工事					
一級建築士事務所登録(8)第1861号 一級建築士登録第171953号 松崎 峰夫 埼玉県熊ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411 (代)						空調設備 1階平面図					
所 長 設計本部長 設計担当 設計年度						令和7年度					
松崎 藤村 深野						縮尺 S=1/100(A1) S=1/200(A3)					

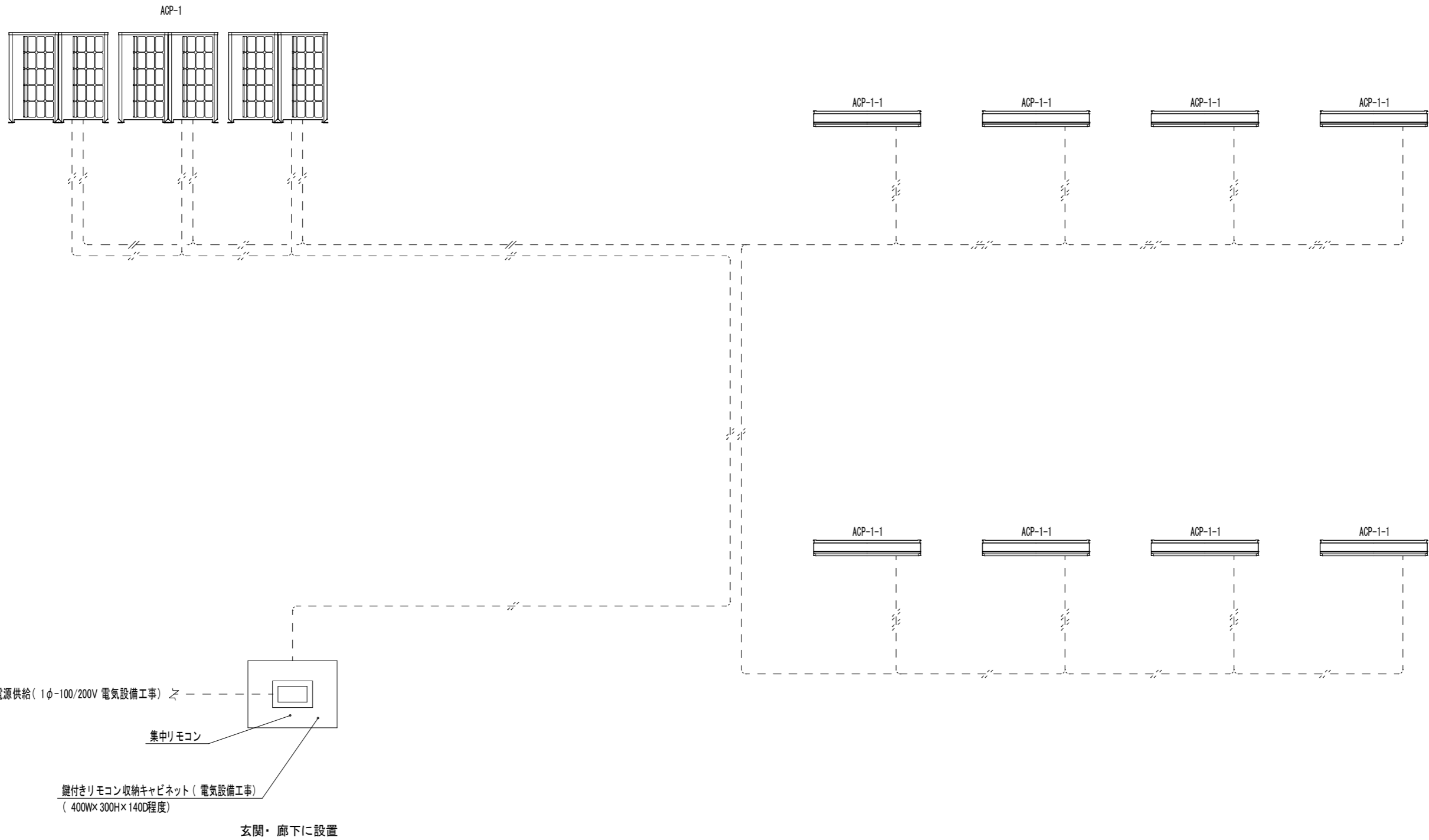


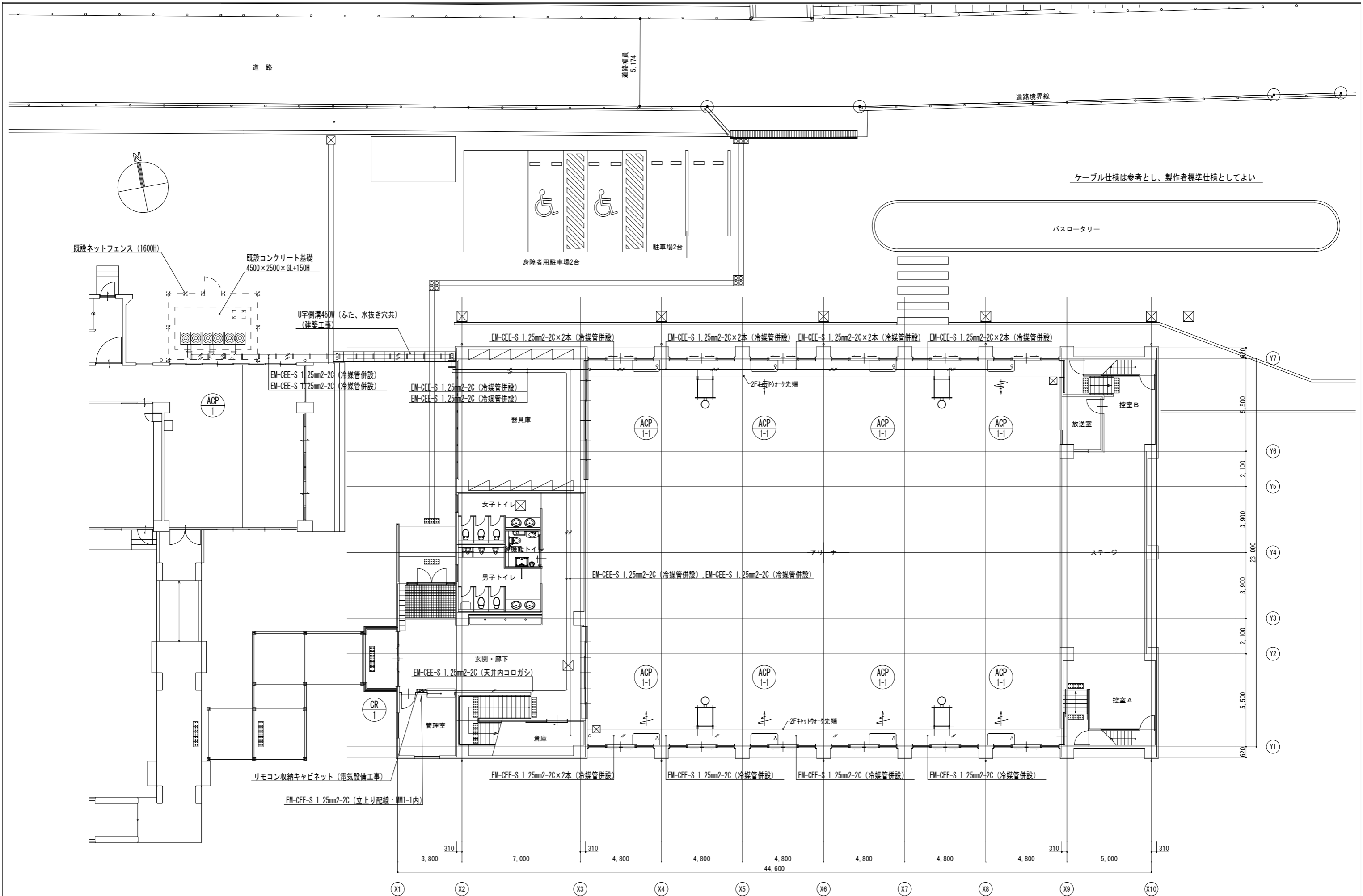
【小鹿野小学校体育館】															
備 考	課長	副課長		主幹	主査	担当	 <div>〔株〕新 日 本 設 計 一級建築士事務所登録（８）第１８６１号 一級建築士登録第１７１９５３号 松崎 峰夫 埼玉県鶴ヶ島市脚折町３丁目28番13号 TEL 049(285)1411（代）</div>	所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称 小鹿野小中学校体育館空調設備工事			図面番号 M-05
								松崎	藤村	深野	令和7年度	図面名称 空調設備 展開参考図（１）		縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	



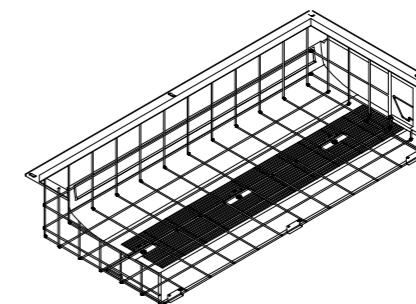
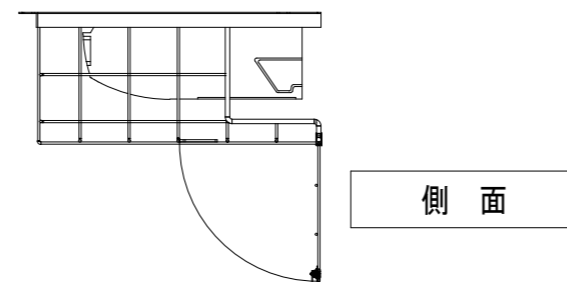
【小鹿野小学校体育館】

備 考							〔株〕新日本設計 一級建築士事務所登録（8）第1861号 一級建築士登録第171953号 松崎 峰夫 埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411（代）	所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称 小鹿野小中学校体育館空調設備工事			図面番号 M-O 6
								松崎	藤村	深野	令和7年度	図面名称 空調設備 展開参考図（2）		縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	

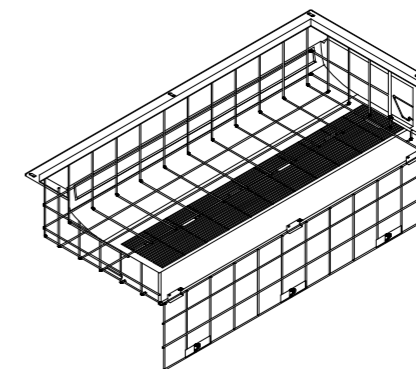




備 考						[株]新日本設計						所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称	図面番号
						一級建築士事務所登録(8)第1861号 一級建築士登録第171953号 松崎 峰夫 埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411 (代)						松崎	藤村	深野	令和7年度	小鹿野小中学校体育館空調設備工事	M-08
																図面名称	縮尺
																二次側配線設備 1階平面図	S=1/100(A1) S=1/200(A3)



平 常 時



メンテナンス時

材 質	SS400 t=3.2mm
	SS400 t=2.3mm
	SS400 t=6.0mm
	丸棒 φ6.0(一部φ12)
仕 上	2.5Y9/1 (半艶焼付塗装)
備 考	KGG-1835T-CR(参考型番)

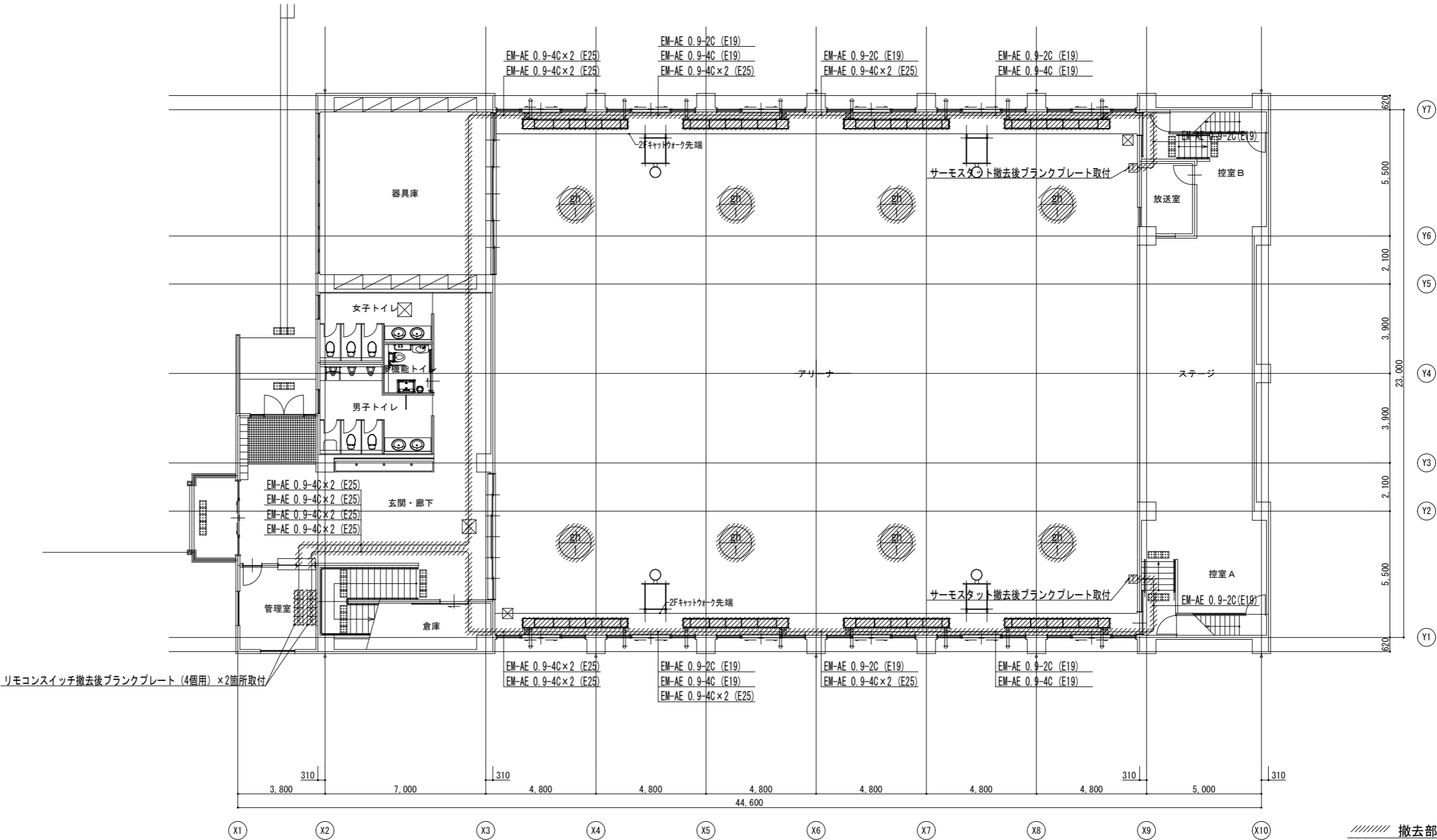
撤去機器表

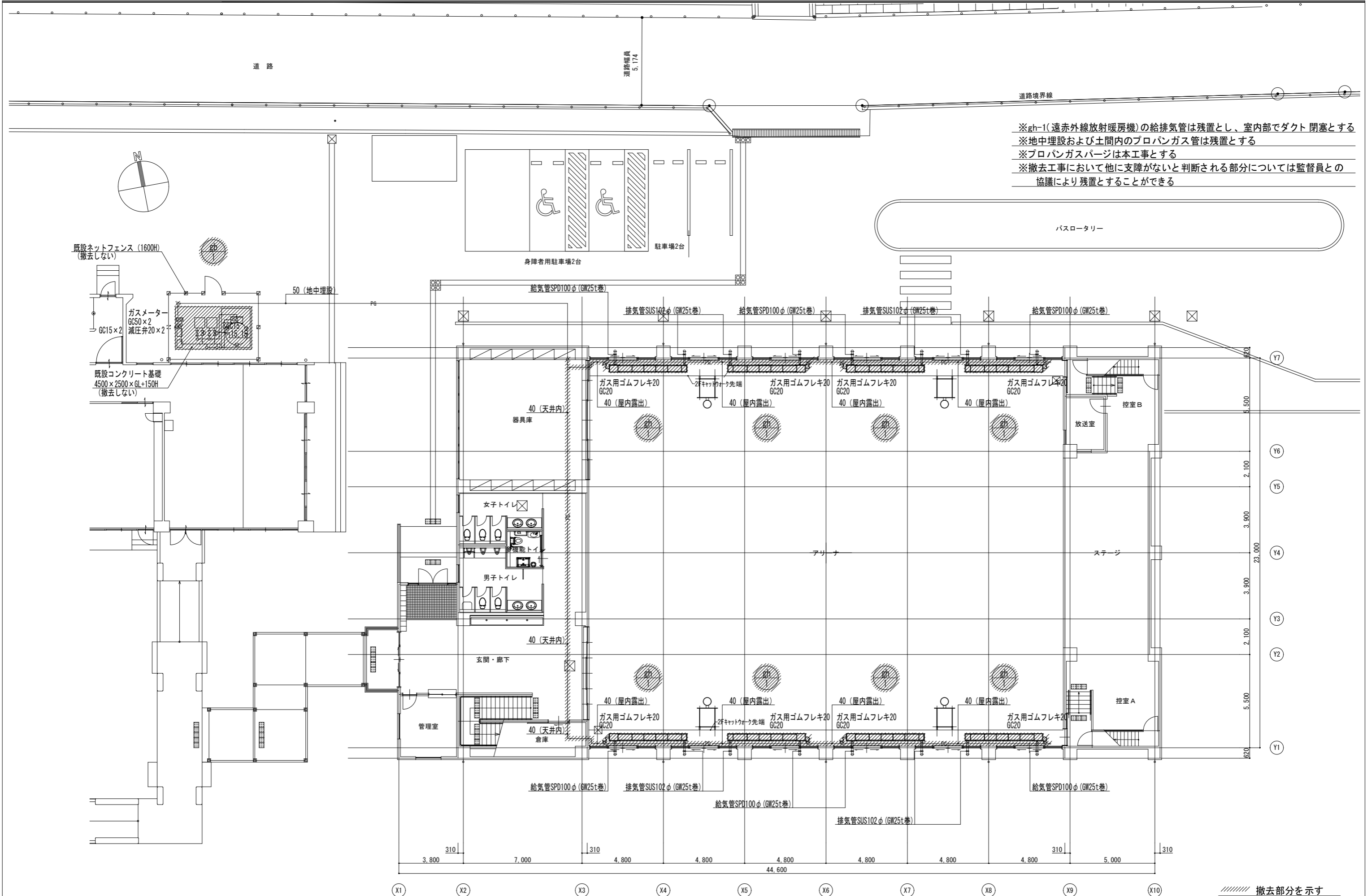
	名 称	仕 様	電 力 (参考)			数量	設置場所	備 考
			φ	V	kW			
gb-1	バルクタンクユニット	地上式 縦型貯蔵量 980kg (I.T.O KT-980T)				1	屋外	外形寸法 1450φ×2200H 900kg
		電気式強制気化装置 最大発生能力 30kg/h (I.T.O VH30T)	3	200	5.0	2		外形寸法・重量 450×480×690H 84kg (再利用しない)
		圧力調整器、安全弁、ガス漏れ警報器、制御盤 (2面)、電線管 (電線)、その他一式						
gh-1	遠赤外線放射暖房機	天吊フナ型遠赤外線放射暖房機 (GCT-21UP5-46)				8	アリーナ	日精オーバル機 BC-1260内蔵
		暖房入力 24.4 kW 暖房出力 18.8 kW						外形寸法 4600×430×500H 100kg (再利用しない)
		燃料消費量 1.75 kW	1	100	150W			
		付属品 給排気筒、給排気用ベントキャップ、その他標準品一式						

撤去凡例

記 号	名 称	区分	材 料		継 手		備 考
PG	プロパンガス管	共通	配管用炭素鋼鋼管 (白)	JIS G 3452	ねじ込み式可鍛鉄製管継手	JIS B 2301	


※撤去工事において他に支障がないと判断される部分については監督員との協議により残置とすることができる





※gh-1(遠赤外線放射暖房機)の給排気管は残置とし、室内部でダクト 閉塞とする  
※地中埋設および土間内のプロパンガス管は残置とする  
※プロパンガスパージは本工事とする  
※撤去工事において他に支障がないと判断される部分については監督員との協議により残置とすることができる

撤去部分を示す  
【小鹿野小学校体育館】

備 考	課長						〔株〕新日本設計 一級建築士事務所登録(8)第1861号 一級建築士登録第171953号 松崎 峰夫 埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411 (代)	所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称				図面番号
	副課長											小鹿野小中学校体育館空調設備工事				
	主幹											図面名称				
	主査							松崎	藤村	深野	令和7年度	暖房設備 1階平面図(撤去)		縮尺	S=1/100(A1) S=1/200(A3)	M-11
	担当															



